

銚田地域農業学園第2回講座（ヤングファーマーズ・ミーティング2025）を開催しました

令和7年7月16日（水）にザ・ヒロサワ・シティ会館でヤングファーマーズ・ミーティング2025が開催され、管内から農業学園生が4名出席しました。

はじめに、主催者である茨城県知事大井川和彦より、儲かる農業を目指すには売上だけでなく所得の向上が重要であることや、県は海外市場を開拓し輸出促進を図る方向性であることなど、出席者へ激励の言葉がありました。

まず第1部は、基調講演として、株式会社鈴生（すずなり）代表取締役鈴木貴博氏より、「農業の可能性は無限大～家族経営から13億円企業へ その道のり～」というテーマで、経営の面で苦労した点や経営理念の変化、人事評価の取り組みについてお話しいただきました。出席者からは、法人化の際に苦労したことや経営者マインドを備えた後継者の育成など経営拡大に向けた質問が寄せられていました。

次に第2部は4つの分科会にわかれて行われ、そのうち1つは、鈴木氏と同社取締役松本氏より、「一人一人が主人公～人財部長と考える“人が集まる”鈴生の魅力～」というテーマで、家族経営から年商13億円企業まで成長させた経験をもとに、人材育成の方法や経営規模が大きくなるにつれての苦労についてお話しいただきました。出席者は、若手従業員に会社の魅力を伝え、共感してもらう手法について関心が高い様子でした。

普及センターでは、今後も農業学園の各講座を通して、スキルアップを目指す担い手を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）

